

2. 事業概要説明

実証事業事務局

事業の趣旨

GIGAスクール構想による1人1台端末環境を活かし、
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実や
主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善等による
新学習指導要領の趣旨を実現

校務の効率化等の学校運営の改善や
教育データの利活用による効果的な学びの支援を推進することが重要

教師を支え、教育の質を高めるツールとしての
先端技術を効果的に活用することが必要

目指すべき次世代の学校・教育現場等を見据えつつ、学校現場で活用し得る先端技術の効果的な利活用について実証を行い、成果の普及を図る

事業の概要

学校教育において効果的に活用できる先端技術の導入・活用について実証を行い、
教員による児童生徒への学習・生活指導の充実や校務支援等、教育の質の向上を図る。

実証のロードマップ

令和元年度(1年目)

学校の課題・ニーズを踏まえ、
先端技術が効果的に作用する
と考えられる場面を整理する。

企画構想・
導入段階

令和2年度(2年目)

学校現場において、先端技術活用
の実践・改善を進め、効果的・効
率的に導入・運用するためのノウ
ハウを蓄積する。

導入・
実証段階

令和3年度(3年目)

「GIGAスクール構想」による1人1
台端末環境を踏まえて蓄積された全
国の先端技術の効果的な活用事例を
整理するとともに、教育において活
用できる指針の技術動向を整理する。

充実・
普及段階

実証地域



事業の目的

1. 学校教育における先端技術・教育データ活用場面の整理
2. 利活用する先端技術等に関する整理・分析
3. 実証地域の取組に関する効果検証及び支援・助言



「学校現場における先端技術利活用ガイドブック」等に反映